

自己評価結果公表シート（平成31年度）

1、本園の教育目標

『一人ひとりを大切に考え、様々な体験の中から「可能性」を引き出し、「心」を育む教育』をモットーに自由で伸び伸びとした個性ある子どもに育つよう、子ども達も先生達も楽しみながら日々活動しています。また、当園は『遊んで学ぶ』を教育方針として、遊びから子ども達の可能性を広げていく教育を行っている。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

昨年度は、大きな事故やケガもなく、行事や保育に取り組むことが出来たが、園内でインフルエンザが流行し、2学期から3学期にかけて欠席人数が多くなってしまった。

本年度は、新型コロナウイルス感染症等と共存していく中で、通常保育や園行事の内容変更を行い、園児が安心して通園できる環境を整える。

また、園児の安全を確保する上で、地震や火災に対する防災意識を高め、避難方法の見直しを行い、より安全に保育活動に取り組むようにする。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況	評価
園児の負担を軽減する為に、通常保育や行事の内容の見直しを行う。	異常気象等から園児を守るため、行事の統合を行った。また、行事の練習の際には、園児を日射病や熱中症から守るため、水分補給や休憩をこまめに行った。	A
園児を大きなケガから守り、安全に保育活動に取り組むことが出来る体制作りを行う。	園庭での職員の配置を再確認した。また、園内の落下物や破損部等の確認を定期的に行った。	A
通常保育や園の行事を行う際に、様々な感染症から園児を守りながら取り組む。	園児の手洗いやうがい徹底した。また、感染症の蔓延を防ぐために嘔吐処理方法や園児の体調確認に取り組んだ。	B
職員が保護者と連絡を密に取り、積極的に情報を共有する体制を整える。	小さな事柄でも、保護者と密に連絡を取り合い、共に子どもの成長を促すことが出来た。	B

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

経過途中の項目も見られてはいるが、今後も引き続き取り組む項目がある。

また、本年度は感染症による欠席が多く、行事や行事の準備に大きな影響があったため、事故や大きなケガだけでなく、引き続き感染症対策にも取り組んでいく必要がある。

5、今後取り組むべき課題	具体的な取り組み方法
<p style="text-align: center;">基本的な生活習慣</p>	<p>引き続き教育の基本的な「挨拶」や「お礼」など言葉や人間関係だけでなく、朝食を食べる、早寝早起きをする、といった正しい生活習慣を身に付けてもらえるよう、家庭(保護者)を含めて子ども達に促す。</p>
<p style="text-align: center;">感染症に対する取り組み</p>	<p>感染症の脅威から園児を守るため、手洗い、うがい、アルコール等をこまめに行う。また、感染症マニュアルを作成後、今後の感染症の状況に適応できるように、随時マニュアルの変更を行う。</p>
<p style="text-align: center;">職員の質の向上</p>	<p>職員の電話対応、保護者対応、緊急時の行動について話し合いを行い意識を高める。</p>

6、学校関係者の評価

保護者会において評価委員会を作り、概ね良しと判断されました。

7、財務状況 公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

「達成度」の表示方法

【A】：十分に達成されている。

【B】：達成されている

【C】：取り組まれているが、達成が充分ではない

【D】：取り組みが不十分である